

日々の暮らしを支える商品・サービスを新しい便利さとともにお届けしています

小売店をはじめ、さまざまな生活拠点が減少している中、日常のお買物やお食事に不便や困難を感じている方が高齢者を中心に増えています。こうした社会課題を見据えて、これまで築いてきた店舗網と物流インフラを活用し、買物支援や安全・安心、便利に暮らすためのサービスの提供に積極的に取り組んでいます。



「セブンらくらくお届け便」で店内ほぼすべての商品をお届け

店舗でご購入いただいた商品や、事前に電話などでご注文いただいた商品をお客さまのご自宅などにお届けするサービス「セブンらくらくお届け便」を実施しています。

また、CO₂などの排出を抑えた、超小型電気自動車「コムス」や電動アシスト自転車を使って配達しています。2015年8月末現在、超小型電気自動車は約800台、電動アシスト自転車は約2,350台が稼働しています。



超小型電気自動車「コムス」

お買物やお食事に不便を感じている方をサポートする お食事お届けサービス「セブンミール」



セブンミールの日替り弁当(写真はイメージです)

栄養バランスを考えたお食事や店舗で人気の食品などをご自宅までお届けしたり、店舗で受け取りができるサービス「セブンミール」を約13,800店(2015年8月末現在)で実施しています。お買物やお食事に不便を感じている方、オフィスでランチにお困りの方など、さまざまなお客さまにご利用いただいています。

日常業務を通じた高齢者の「見守り」活動を推進

地域社会の安全・安心を支える拠点をめざして、各自治体と高齢者などの支援に関する協定を結んでいます。

この協定は、お食事お届けサービス「セブンミール」や店内商品の配達などの日常業務の中で高齢者の異変を察知した場合、各自治体と連携して対応する取り組みです。

今後も、この取り組みを全国に拡大していく予定です。



日常業務の中で高齢者を「見守り」

TOPICS

「認知症サポーターキャラバン」事業に参加して 認知症サポーター養成講座を受講

セブン-イレブンでは、すべての人が安心して暮らせる街づくりの一環として、厚生労働省が推進する「認知症サポーターキャラバン」事業に参加しています。認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を支援するボランティアです。

さらに、加盟店のオーナーさまや店舗従業員に講座の受講を呼びかけることで、地域の人々により大きな安心感を与える店舗を全国に広げていくことをめざしています。



セブン-イレブン本部で開かれた
認知症サポーター研修風景

認知症サポーターキャラバン
キャラクター「ロバ隊長」



東日本大震災の避難指示区域に小売業として初めて出店

2015年7月31日、復興庁福島復興局や福島県、飯舘村からの要請を受け、「セブン-イレブン飯舘村仮設店舗」を開店しました。全村避難中の飯舘村への小売店舗出店は、セブン-イレブンが初となり、飯舘村内にお勤めの方や一時帰宅される住民の方、復興事業に携わる方々のお買物を支援しています。

そのほかにも、2013年8月には当時避難指示解除準備区域だった楢葉町にも出店したほか、同年9月には田村市都路地区で移動販売車「セブンあんしんお届け便」による販売を始めるなど、被災地の復興支援を進めています。



開店セレモニー（セブン-イレブン飯舘村仮設店舗）

水素ステーションの併設店舗を通じて 地域インフラとしての拠点づくりを開始

新たなクリーン・エネルギーとして注目を集める「水素」。セブン-イレブンは、岩谷産業と連携して、水素ステーションを併設した店舗を展開していく予定です。

水素ステーションは、クリーンな自動車として普及が期待される、燃料電池自動車の燃料となる水素を供給する施設です。併設店舗の展開によって「商品」「サービス」「クリーン・エネルギー」を1ヶ所で提供し、新たな地域インフラとしての拠点づくりをめざしていきます。



水素ステーション併設店舗
(イラストはイメージです)

スマホのアプリや行政サービスとも連携し マルチコピー機がさらに進化

2015年4月、コピーやファックス、行政サービスなど多彩な機能を持つ「マルチコピー機」をリニューアルしました。トップ画面は、初めてご利用するお客さまも使いやすいよう、シンプルな画面としました。

また、スマートフォンのアプリと連携した新機能も搭載しています。出張先で急に書類が必要になった時や、旅行先で撮った写真をすぐにプリントしたい時に、アプリを使って簡単に出力できます。

「マルチコピー機」で出力できる行政サービス※

- 住民票の写し
- 戸籍証明書
- 印鑑登録証明書
- 戸籍附票の写し
- 住民票記載事項証明書
- 税の証明書

※提携している自治体によりご利用いただけるサービスは異なります。
※住民基本台帳カード(住基カード)を利用したサービスです。



新型マルチコピー機



Wi-Fi(無線LAN)サービス
「セブンスポット」

高速インターネット接続を 利用できる「セブンスポット」

「セブンスポット」とは、会員登録(無料)をすることで高速インターネットへの接続、限定コンテンツやサービスをご利用いただけるWi-Fi(無線LAN)サービスです。全国約17,000店(2015年8月末現在)に設置しており、2015年9月からは災害時の特別開放の運用を開始しました。災害時はセブンスポットに会員登録しなくてもアクセスが可能となり、スムーズに安否確認や災害情報の取得ができます。

多様なニーズに対応するATM

セブン銀行のATMは、視覚障がいのあるお客さまにご利用いただける「音声ガイダンスサービス」をはじめ、取引画面は色覚タイプの違いを問わず、より多くの人が見やすくなるカラーユニバーサルデザイン(略称:CUD)を導入するなど、お客さまの多様なニーズに対応しています。



音声ガイダンスサービスの様子

2013年から預貯金取扱金融機関および証券会社のお取引について、また2015年からは第3世代ATMのすべてのお取引についてCUDの考え方を導入しています。CUD認証は、ご利用時間・手数料などのご案内を除くATM取引画面について取得しています。



「安全・安心なまちづくり」に貢献する セーフティステーション活動

店舗では、女性や子どもの駆け込み対応や高齢者の保護などを行っています。これからも積極的に「安全・安心なまちづくり」につなげる役割を担っていきます。

駆け込みや保護の対応状況(2014年1月～12月)

女性	子ども	高齢者
2,207店舗	1,213店舗	3,630店舗